



【刊夕】日四十月一
 價定 部一 金部一 錢五 錢五 錢五
 料告廣 字三 十號五 一語字
 行發 兼行發 人編印 人編印 人編印
 所行發 所行發 所行發 所行發
 社社 社社 社社 社社
 會會 會會 會會 會會
 式式 式式 式式 式式
 社社 社社 社社 社社
 會會 會會 會會 會會
 社社 社社 社社 社社

還相か輪廻か (一)

眞 繼 雲 山

延元四年八月、吉野の主上、御不豫のことあり同月十六日いよ／＼御脈かはらせたまふを拜し、大塔の忠雲僧正涙を押へて申しけるは(前略)

今はひとへに十善の天位を捨て三昧の覺路に赴かせたまふべきことをのみ思し召し定められ候ふべし云々とあり

佛教の要は、生死輪廻のきづなを断つといふにある悟れば佛果に登りて再び迷ひ出づることはないが、それが悟つてゐないとすると生々世々、生死輪廻の苦患を繰り返すといふことになる

所が私たちが凡夫の考へかたは丁度それとアベコベで死んでも命があるやうにといふので、死ぬのは是非ないと諦めるにしてもセメてもう一度でも二度でも、この娑婆に生れて来たへ、さうして御丁寧にも生死輪廻を繰り返したいと希ふてゐるのである、死んでそれなりけりといふのがどうも

本意ないやうに考へてゐるのだ、それといふのが迷ふてゐるせいでもあるが斯ういふ深い生の執着漢にかゝつては馬鹿と一しよで附ける藥がない

死んでどうなるのか上等かと云へば忠雲僧正が後醍醐天皇に申し上げたる「三昧の覺路」が佛果に登る道である、三界に生を引くといふのが生死輪廻の始まりである

三昧といふのは宿明證明、漏盡證明、漏盡とも證明の三つのことである、覺路とはその三つの覺りへの道である

われ／＼には過去、現在未來がある、第一の宿明證とは、宿世の住處、身分を知つて過去に對する妄念を拂ふこと、第二の死生智とは未來世における生死のコク／＼を見透して我他彼此の念をやめにするること。成るほど先きまでストンと見透してしまへば、今更ら生きたり死んだりをいつま

でも／＼繰り返すのは馬鹿／＼しいことになる、つまりモウよい加減に、生死輪廻の下らぬ芝居は面倒で際限がないからやめにせよである、第三の漏盡智といふのは現在の有漏の煩惱を断盡して、生死の繫縛をなされることである、成るほど斯うして過現未から離れてしまへばあつさりしたものであらう

結局われ／＼が死んでからはどういふことになればよいのかといふに凡て上中下の三段になる



蘆の湖

市川健次

夕陽に匂ふ蘆もみぢはらはら散つて浮きながら湖水のみづは澄みきつて山をうつしてをりましたうみを横ぎる小蒸汽は水にしるじろ波たてるとほつたあとに鴨のむれしづかに下りて寄つてます

本場浅草ノリ有荷

何商品でも實際之本場物は少き物に候今回際店にて本場浅草海苔を販賣致す候間試に何程でも御購求被下度此段廣告仕候全く場違は賣らず候

平町四丁目 伊勢屋商店

外科

門 專 X
科 線 光

上田外科醫院

平町南町
電話一二九番

お正月の気分は
先づ當店々頭から

福袋一ケ 五十錢

中には何が入つて居るでせう……

目 丁 四 平
ヤトモツマ
番 四 一 二 話 電

祝賀……
勝利……
歓迎……
送別……
葬儀……

△生き／＼した
△安

造花

町川新平
屋本橋
番三六一話電

ヨウ！モーターン！
いゝ服を求めたね
断然三一年型だよ
いやコレカネ
例の……「ソレ」

正札堂

六三四電通場車停目丁四町平

レコード破りの石炭大廉賣

磐城炭礦 正味十貫匁 一俵金卅錢也
二等炭
「品が良く」「値は安く」をモットーとする當店は此度破格の格安石炭を販賣開始致します
「値が安くとも品は悪くはありません」
磐城炭礦の處分的大堀物です、品物の無くならない中に御注文下さい
配達は一俵より致します

御注文は

電話二二七番へ
平 驛 前
阿部石炭商店

吉田眼科病院

平紺屋町、電話六八番

目下大流行の

ベビーカメラ

一金六拾錢也

附 屬 品 付
平町一丁目
森下商店

新規事業は

一切ぬきの

平町明年度豫算

庶務課に集めて整理中

平町明年度の要求豫算は十三日全部庶務課に集つたので同課で目下整理中だが豫算運用の根本となる歳入方面をみると縣稅の改廢に伴ふ

大減額

から是のみで本年度に比し三千餘圓の大狂ひを生じ五年度當初稅收豫算十六萬二千四百八十八圓が約一割強減つて十四萬六千餘圓となり八萬六千七百六十三圓の戸數割も是又一戸當り十八圓五十錢を十六圓標準にしたので約一萬圓減額し

炭礦界の活況に

協定破る

需要先好轉し 競争的に送炭

常磐炭礦界では需要先きの甲信地方事業界の好轉から舊臘末より活氣付き綴、湯本兩驛の出炭は毎日六百車を越え炭界不況から前年出炭高の二割三分の全國協定減を遙に突破して同地方全部で月額二十萬噸以上に達するらしく各礦務所では協

四倉署寒稽古 四倉署管内の剣道寒稽古は昨三

日から廿二日まで十日間同署に行ふが一般の参加を歓迎してゐる

神谷修養團

講演會開催

石城郡神谷村では十二日午後一時より修養團神谷支部主催で同村青年團員及有志

色魔の魔術師

- ▼ 本名 青木由五郎(前科三犯)
- ▼ 原籍 神奈川 縣 浦賀町
- ▼ 平地方にての偽名 柳田辰五郎
- ▼ 房總地方にての偽名 森本友三

柳田を捕縛する迄

根本 毅

「あゝ、さうですか。どうも變な處が御座いますよ。最初の振れ込みが頗る大風呂敷なのに似合はず。金錢の事と來たらそれは、金銭のさいのんです。私共で仕事を

してその料金が約拾圓余。それ以上で來て左様一週間程前の事です東京へ用事があつて行つて來たいから百五十圓貸して呉れとの事。あまり方外の事を云ふので私もムツとしてとて出た。なとキツパリ断はりました。た。それではこの酸素熔接器具一切を置いて行くから五十圓助けて呉れとの事で證書を一札入れさして都合をして遣りました。ハ、ア成る程か。私としての考では奴再びこちらへ歸つて参りますか如何うですか疑問ですか疑問ですが然しなにして第一の稼業道

者、役場、學校職員、上級生徒等會集修養團、本部教務主任松川富保氏の修養談「感謝の念親の恩」等に就て二時間余に亘る講演があつて多大の感動を與へた尙同支部では更に同夜神谷校内で團員の一夜講習會を開いて松川氏の講演があつた

文藝募集

「柳田と云ふ偽名でした。ねなにかにあつたやうに記憶に残つて居ります。一つ調べて見ませう」と

電話で警察の方から通知になつてそれを一々書留めにした手帳やら。縣の警察部から發表になつて居る警察報の綴やらを二人で眼を皿のやうにして調べて見るとあつた。昭和五年三月廿九日發の千葉縣警察報の内に福島縣警察部から通知になつて居る

冬のサロン

暖房装置完備しました
暖かいお飲物
暖かい御料理
そして芳醇なカクテル種々
洋食通の季節になりました
ドーゾ御來店を……

イワキサロン

田町 電話三五二

良品廉賣に勝る商略なし
磐城セメント特約代理店



磐城國平町五丁目
電話九番 九九番
振替貯金口座東京一〇九五六番

確實敏捷は釜屋の生命なり

専門 内科一般

宅診 内科は何でも診療致します
往診 呼吸器病ばかりではありません

川井内科診療所

醫學士 川井重之
女醫 川井安子
電話一八一番

平町南町六五(元大和田耳鼻喉院跡)

入學試験の前に 父兄達へお願い

学校を選ぶに當つて

考慮すべき条件四ツ

▲平第二小学校長曾我直治氏談▼

入學試験が近づいて参りましたが、先づ第一に自分の子は學校にやるべきであるか、實務につかせるがよいかを、よく考へねばなりません、兎角親としては子を買かぶつて、どうしても

此子は上の學校へやらねばならぬとか、他所の子が中學へ行くから家の子も中學へやらうと云つたこと、ほんとに子供の身體なり能力なりが上の學校に進むのに適してゐるかを考へてゐませんか、さうした結果が子供の

將來を誤つてしまふやうな事が少くありませんそこで親としては先づ(一)子供の身體(二)知能(三)學習的興味の有無(四)一家の經濟の四點について考慮して見る必要があります、その

知能や健康等については自分の子を買かぶることのないやうに學校擔任教師や其他と相談し、つとめて公平に客觀的に見るやうにせねばなりません、そして高等教育を受ける望みのないものなら、現在の世情では、もう決して

中學を受けさせる必要はなくそれよりか實業學校をえらばせるやうにせねばなりません、さてその學校の選擇ですが教育と云つても生活を離れた教育では役に立ちませんから、やはりその學校を

卒業後の職業を考へると共に學校の教育方針、施設、校風校則などを調べて子供の身心の特質によく適するかを考へる事にせねば

なりませんが、最近の統計によりますと全國中學校生徒三十餘萬のうち半途退學が、一割にも達しその半數は病氣のためと家庭の事情などが原因してゐます、そして中學を出たばかりで、ぶらぶらしてゐる人はどれ位多いか知れませんが、こんな事は子供の將來にとつて大變不幸な事です(平第一小学校長曾我直治氏談)

舊正月を控へて

農家の窮乏深刻

舊臘來の米買上など

何等の効果がな

新曆正月を迎へた石城郡下農村は舊臘中米買上實施によつて米相場に幾分の好轉あるものと豫想し心密に待構へてゐるが

依然相場は好轉を見ず舊臘來の曙光は片影だに見えず前途暗澹たる状態にあるがこれがため舊正月を控へた、農家の窮乏はいよ

／＼深刻で目下年末切掛け策に四苦八苦の体にある

明日の天気

十五日

今晩も明日も北西の風晴れたり曇つたり

- 前七、〇〇 ラジオ体操
- 前九、〇〇 氣象通報
- 前九、〇〇 料理献立
- 一、紅葉揚
- 二、遠根のアチャラ
- 三、松本市發表
- 前一、〇〇、三、〇〇より
- 前二、〇〇まで 家庭講座
- 「お筆の譜の讀み方」三落合三東里
- 正午 時報
- 貧困者救済の資金にとく名で金十圓を寄附した篤志家があつた

昨今の寒さに 感冒が大流行

相當悪性を帯び 肺炎を併發する

石城地方は數日前から寒冷頗るに達し連日零下五六度内外に達し近年に見ない低温を示してゐるが之がため各地に流行性感冒若しくは小兒の悪疫等が發生します(一)蔓延の兆あり各署では豫防警戒に努めてゐるが相當悪性を帯び肺炎等を併發して死亡する者少くないので地方民は戦々恟々たる有様である

多いは窃盜

舊冬の犯罪

平署舊冬十二月中の犯罪檢舉總數は二百九十五件であつたこのうち最も多いのは窃盜の七十八件、詐欺七十七件、横領の二十七件等であつた

自動車が 獨りで動く

川中に墜落

乗客が重傷

石城郡湯本町自動車運轉手齋藤清太(二)は十三日午後一時頃福島炭礦工夫白井俊(三)外數名を乗せ同郡上遠

落盤で惨死

大星炭礦で

石城郡好間村字上好間大星炭礦坑掘り地さへ(一)は十二日午後一時落盤のため惨死した

- 中華民國々立藝術院教授東京美術學校講師齋藤佳三
- 後三、四〇 氣象通報
- 後四、〇〇 ニュース
- 後四、〇五 角力中繼「東京大角力春場所」八日目國技館より中繼
- 後六、〇〇 子供の時間探偵物語(寶のかめ)大下宇陀兒
- 後六、三〇 文藝講座「名作のグリムプス」宮森麻太郎
- 後七、〇〇 ニュース、氣象通報、番組豫告、告知事項
- 後七、二五 趣味講演「短冊の由来」松田竹の島人
- 後八、〇〇 浪花節「肉附の面」津田清美
- 後八、五〇 哥澤一、新曲今朝の辻占二、松竹梅(唄)哥澤芝勢以(三味線)哥澤芝愛、同哥澤芝加一
- 後九、〇五 落語「七度狐」桂小南
- 後九、四〇 番組豫告、告知事項

平驛神詣團體

平驛から今回神詣團體直通列車を運轉するが期日は来る二月廿七日午後一時四十分發

女寶圓

元祖家傳の子宮坐藥として名聲噴々たり

子宮病が根治する

白帶下、赤帶下、陰門惡臭の人、子宮冷へ込み腰足の冷へる人、月經不順、下腹痛み引る人、こしけの下る人、子宮出血、子宮癌腫の人、逆上、頭痛、ヒステリーの人、淋毒性子宮病、不妊症の人

歴史に古く學理に新しい著しき効果

子供の出来る名藥

特約代理店 市原商店 平一丁目電話二四四番

